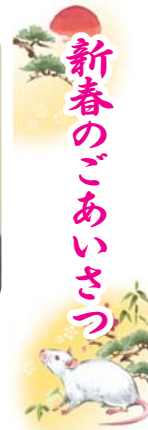


あきない通信

No.30



商工会長
池田 ひろし 央

新年あけましておめでとうございます。
令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

我が国の経済は、好調な企業収益と雇用情勢が続くなか、各種政策の効果もあつて緩やかな回復基調が続いているといわれています。

しかしながら、内子町においては、少子高齢化や人口減少の影響が拡大しており、消費人口の減少、働き手不足に加え、経営者の高齢化や後継者不足など、持続的安定経営や事業承継を行うためには、大きな課題であり、引き続き厳しい経営環境にあります。

昨年10月には消費税10%への税

率引き上げが行われ、軽減税率制度やポイント還元事業が導入され、働き方改革など、経営環境の変化に対応した経営基盤の強化が求められています。

こうした状況の中、本会では、昨年策定いたしました経営発達支援計画(5年)を着実に実施し、会員企業に寄り添った経営計画策定などの支援を推進するとともに、人材育成に取り組んでおります。

また、小規模事業者持続化補助金は、当地域において、延べ38件(豪雨対策分26件、通常分12件)、約4,400万円の採択を受け、販路開拓や店舗改修・商品開発支援などを通じて、事業者の持続的発展に支援を行っております。

商工会は地域唯一の経済団体・最も身近な経営支援機関として、「行きます、聞きます、提案します」をスローガンに、事業者に寄り添った経営支援を行い、「儲かる企業・地域づくり」の実現に向けて、皆様に役立つ商工会、会員で良かったと言っていただけの商工

発行・編集：内子町商工会
あきない通信編集委員会

会員数	594名 R2.1.1現在
内子地区	341名
五十崎地区	146名
小田地区	107名

本所
〒791-3301 内子町内子1502
TEL 0893-44-2166 FAX 44-4936

小田支所
〒791-3501 内子町小田81
TEL 0892-52-2144 FAX 52-3256

【小規模事業者持続化補助金とは】

小規模事業者の皆様が、販路拡大や持続的な経営に向けた経営計画に基づく、地道な販路開拓等の取り組みを支援するため、原則50万円を上限に補助金(補助率：2/3)が支出されるものです。計画の作成や販路開拓等の実施の際、商工会の指導・助言を受けられます。※募集時期がありますので、お問い合わせください。

会を旨とした会員サービスに取り組んで参ります。
また、全国の市町村で条例化が進んでいる「小規模企業振興に関する条例」を、我が町でも制定していただけるよう、引き続き内子町に対して、粘り強く働きかけて参ります。何卒、本年も旧年同様にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

WEBセミナーのご案内

インターネットで経営支援
内子町商工会のホームページから、無料でセミナーが受講いただけます。

- パソコン
- 経営実務
- 実習研修
- 人材育成
- 経営者・実務者講演
- 経営革新・事業承継
- 経営安定(危機管理)・・・等々



↑ スマホはこちら

で、社内研修カリキュラムのツールとしても活用いただけます。



<http://www.uchiko-shokokai.or.jp/>

経営発達支援事業

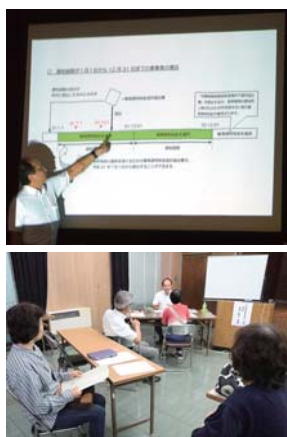
経営発達支援計画とは、商工会及び商工会議所が、小規模事業者による事業計画の作成及びその着実な実施を支援するとともに、地域活性化につながる展示会の開催等の取組など、小規模事業者の技術の向上、新たな事業分野の開拓その他小規模事業者の経営の発達を支援するものです。

令和元年度、内子町商工会は、同計画に基づいた事業実施を経済産業大臣に認定され、「伴走型小規模事業者支援推進事業」として、各種の事業を実施しました。

■講習会の開催

①消費軽減税率直前対応

講師：小島 泰三氏(税理士)
実施日等：9月12日(木)／23名



消費税率の引き上げと軽減税率制度が導入される10月直前、適用税率毎に区分した経理など事例を交えながら学びました。

②ドローンを活用した新ビジネスとデジタル戦略

講師：竹本 宗文氏
(ビジネス戦略アドバイザー)
実施日等：9月26日(木)／30名



ドローンによる他業界への参入や新規事業展開の知見について、ドローンの活用をわかりやすく解説いただき、実際にドローンの操作も体験しました。

③経営計画・事業計画作成

講師：上野 敬治氏(中小企業診断士)
実施日等：10月9日(水)／23名



自社の強み・弱みを知り、自社の事業所の課題や問題点を的確に把握しながら、今後の中長期的な経営計画立案に役立てました。

④売れる販促ツールの作り方見せ方

講師：久保田 郁夫氏
(グラフィックデザイナー)
実施日等：11月13日(水)／21名



顧客の興味を喚起し、購買に結び付けられる販促ツールとして、視覚的な効果を発揮し、全体の売上アップにつながるツールの作成方法を学びました。

⑤食品大手バイヤーに向けた販路開拓・商談対策

講師：泉谷 昇氏
(NPO法人いよココロザシ大学学長)
実施日等：11月27日(水)／10名



特に食品に関わる方々を対象に、販路開拓・販路拡大における消費

者視点の戦略づくりのポイント等について、事例を交えながら学びました。

⑥事業承継・創業等事業計画策定(個別相談会)

講師：朝野 好徳氏(税理士)
実施日等：10月23日(水)／3名
12月11日(水)／5名

起業を検討している方や経営者・後継者の方々を対象に、窓口・訪問等で個別相談を実施しました。

■展示商談会への出席

会員事業所の優れた商品の販路拡大を目指し、来たる2月12日(水)～14日(金)、幕張メッセで開かれる第54回スーパーマーケット・トレードショーに出展します。参加会員は、食品を製造販売している5事業所。



全国のスーパーマーケットを中心とした小売業をはじめ、卸・商社、中食、外食、海外などから多数のバイヤーにご来場いただく場で、出展者の新たな販路拡大やビジネスチャンスに繋がれば幸いです。

各部会活動報告

【商業部会】

■県外視察研修

7月7日(日)〜8日(月)、京都及び滋賀方面を、22名の参加者にて視察しました。



西日本で一番小さな市である京都向日(むこう)市は、古くから良質な竹やタケノコの里として知られていましたが、それらでの町おこしが今一つパツとせず、「名物がないければ作ればよい!」との発想で激辛商店街が誕生。辛いけど旨いN.O.1を決めるK.A.R.A.1グランプリでは、毎年多数のお客様が来るようになりました。その他近江八幡の町並みの視察や、一泊ならではの懇親会を通して充分な交流を図ることもでき、参加者からは「研修と懇親でメリハリがあった」「激辛商店街の前向きな発想はためになった」「改めて内子の良さを感じることもできた」等、感想をいただきました。



■親睦レクバレー大会

9月16日(月)



敬老の日、内子東自治センター体育館にて、恒例の親睦レクバレー大会を開催しました。計8チーム、71名の参加で、好プレー・珍プレーが続出。絶えず、笑顔でありながらも、真剣なプレーにより試合が進みました。結果は、優勝・松浦商販、準優勝・空豆、3位・ろまん、4位・商工会。バレーの後の親睦会も大変盛り上がりしました。

■料理講習会

11月5日(火)、小田自治会館にて、26名の参加で料理講習会を開催しました。講師は、地元小田地区、旅館大福の稲垣部会長。今回のメニューは、あめのうおロール焼きや鯛茶漬けなど。美味しかった、楽しかった!と大好評。家でもまた作ってみたい、と感想をいただきました。



【工業部会】

■一日視察研修

8月26日(月)

淡路島の都美人酒造、安富白土瓦、薫寿堂を視察しました。都美人酒造では、現在は全国にも数件しかない、昔ながらの「天秤絞り」を復活させ、さらに合鴨農法で栽培した有機無農薬米の純米吟醸など、量から質への転換を図っています。淡路瓦を製造する安富白土瓦(やすとみしらつちかわら)では、400年の歴史を刻む伝統工芸的地場産業を伝えるとともに、一般の方にも土と戯れ、楽しんでいただけるよう体験場も設けています。また、新鮮な海・山の幸を味わえる「かわら焼」を楽しむこともできます。



最後に立ち寄った薫寿堂は、お香と線香の製造工場。伝統の香りに新しい時代のエッセンスを加え、数々の洗練された芳香を暮らした中に取り入れていただくため、新製品の

開発に積極的に取り組んでいました。工業部会では、今後も様々な生産現場を視察し、自社の発展に役立つヒントを探していきたいと思えます。



【建設業部会】

■フルハーネス型墜落制止用器具(安全帯)特別教育講習会

10月12日(土)、休憩を挟みながら、9時〜16時の6時間、五十崎自治センターにおいて、商工会建設部会員及び建設業組合員を対象に実施しました。

このセミナーは、労働安全衛生規則の一部改正により、高さが2m以上の箇所であつて、作業床を設けることが困難なところにおいて、墜落制止用器具のうち、フルハーネス型のものを用いて行う作業に係る業務は、特別教育が必要というもので、当日は27事業所から119名が参加し、



2人の専門講師の指導のもと、学科・実技を熱心に学び、終了後は、全員が受講証明書を受領しました。出席した方々からは、「法令改正の度に、こうした研修会を商工会が事務局となり、割安な費用で参加できるのは有難い。今後も実施してほしい。」等の感想を頂きました。

■第25回シクロクロス全日本選手権

12月7日(土)、8日(日)、小田川河川敷豊秋河原特設コースで、西日本で初開催のシクロクロス全日本選手権大会が開催されました。大会は、初日は男女マスタース、最終日はエリート等9カテゴリーを実施し、愛媛県勢も大いに活躍。県・町が推進する自転車新文化の普及・啓発を図り、観光客誘致、交流人口増大を図ることも目的としています。



当部会からは、前々日のコース設置搬入設置、当日の地域産品の物販等で大会運営をサポートさせていただきました。

令和元年12月7(土)・8(日)
第17回和紙創作展開催

場所：株天神産紙工場
主催：界限づくり委員会

界限づくり委員会は、「天神産紙工場」で「和紙創作展」を開催。衰退する和紙産業を元気づけようと始めて17年になりました。

一つの歴史にもなるように思えます。内子町「いかざき」の「大洲和紙」の最古の記録は、今からおよそ千年前、正倉院の「東南院文書」(950年)。ここに、喜多郡2,720張りと言われていました。そんな長い歴史の中のひとつの出来事が、「和紙創作展」だと考えると嬉しさがあります。

今回の出展者及び作品は、
○「折り紙工房千鶴」
巧みに折りあげた作品で、四季の行灯・箸袋・ポチ袋・おひな様などを出品。

○「五十崎社中」
和紙に金属箔を繊細にデザイン(ギルディング)し、タペストリー・はがき・紙ふうせんなどを出品。

○「和ヶ紙工房」
和紙の柔らかさに、さらに丸みでなんとも言えない感じを出したマグネットを出品。

○「自然派工房なるた」

実に様々な材料とのコラボで、イヤリング・ブローチ・ネックレスなどを出品。

○「愛媛大学」(芭蕉和紙研究チーム)

昨年よりさらに進化し、より繊細に漉いた、芭蕉和紙に墨文字の作品を出品。

○「大森よろず研究室」

愛媛大学(福田内先生)に漉いて頂いた芭蕉和紙を使い、クリアーな音を再現した蓄音機を出品。

会場内では、折り紙工房千鶴さんの折り紙と、五十崎社中さんのギルディングによるワークショップが行われ、自分が作った作品に歓喜の声も上がっていました。

また会員さんが音楽仲間をお呼びして「木管四重奏団」を結成。会場で親しみのある曲を演奏、会場を沸かせました。その演奏に合わせ、和紙で作った太鼓を子供さんが楽しそうに叩いていました。



【国の教育ローンのご案内】

国の教育ローンは、全ての学校に進学するお子様をお持ちのご家庭を対象とした、公的な融資制度です。

▼ご融資額：お子様一人につき 350万円以内

▼利率：年1.66%(固定)

▼返済期間：15年以内

▼使いみち：学校納付金(入学金、授業料、受験料、交通費等)、自宅外通学に必要な居住費用(敷金、家賃等)、教科書代、学生の国民年金保険料他
ご相談は、教育ローンコールセンターまで。

〈教育ローンコールセンター〉

電話0570-008656

月～金 午前9時～午後9時
土曜日 午前9時～午後5時

青年部だより

青年部では卒業が45歳になったことも有り、現在71名の部員がいます。役員を選定の条件として、38歳以下の部員が望ましいというものがあり、今年度の役員改選時の候補者は27名でした。現在の部員で見ると、2021年には23名、2023年には17名の中から、役員定数の16名を選出しなければならぬという状況になります。

自分も40歳を目前に控え、後者に任せるのではなく、組織改革に取り組まなければと感じております。青年部員にとってこの問題は、若手経営者、後継者として無視できるものではなく、同じ感覚で取り組み、意見を出していただくものと感じております。

青年部では、各地区で様々な行事等を通じ、地域の活性に取り組んでいます。内子町商工会青年部全体としての事業活動が無い状況です。昨年開催した「うちこん」を内子町商工会青



各部の事業とし、内子町の人口増加はもとより、賛助部員を含めた部員の増強になればと考えております。

各地域の行事等も、もちろん大切ではありますが、各支部員である前に、内子町商工会青年部員であることを再度認識し、地域振興発展はもとより精力的な活動をし、諸問題に取り組んでいきますので、ますますの応援並びに、本年度も商工会青年部をどうぞよろしくお願いたします。

(城戸部長)

女性部だより

【おもてなし交流事業に先駆けて】
12月3日(火)午前中から、中子ロックの5商工会総勢31名の方々に、内子町に来ていただきました。

内子自治センターで、東温市商工会の野間ロック長の挨拶から始まり、内子町商工会泉副会長の挨拶



挨拶、日程説明の後、ギルディングの講師に五十崎社中の社長斎藤さん・折紙の講師に五十崎支部の岡野さんをお迎えして、2班に分かれ、手漉き和紙葉書のギルディングと折紙のワークシヨップを実施しました(ギルディングとは、紙や木材、プラスチックなどの上に金属箔を張り付けてデザインを施す手法です)。

箔を置いた後、刷毛で余分な箔を落とすと、箔でかたどった模様がでてきます。

その時の「わあー」という皆さんの歓声はすごかったです。

折紙は季節に合わせて、ツリやサンタクロス等であしらわれたポストカードや壁掛けにも使えるものを作成していただきました。皆さんどちらも熱心で、いい作品ができたとても喜んでいただきました。



実はこの日に先駆け、11月8日(金)、女性部で事前に折紙の講習会も行っていて、そのかいあってか女性部の皆さんのお手伝いによ

り、よりスムーズなワークシヨップができたと思っております。一階の和室には休憩所を設け、ギルディングの葉書の販売、岡野さんの折紙で作ったお雛様をはじめとする作品を展示し、お茶を飲んでいただきながら話に花が咲いていました。



お昼からはガイドさんの案内で、町並み散策をされるお聞きしていたので、坂町の「古民家ゲストハウス&バー内子晴れ」さんにご協力をお願いし、限定でお飲み物券のお接待をさせていただきます。

内子町商工会女性部では、全国商工会女性部連合会のおもてなし交流事業に参入しています。今後、全国から女性部の皆さん

に訪れていたいただいた際のおもてなしについて、私たち部員にとっても良い経験になり、皆さん方の意見を聞き、軌道修正しながら今後、内子に来ていただく方々に喜んでいただけるようなおもてなし交流事業にできればと思っております。



(中田部長)

企業紹介

お好みハウスおおした

「こんにちは」「はいい！」いつもニコニコ笑顔で迎えてくれる、勝江さん（以下勝つちゃん）。



ここは、小田で唯一のお好み焼き屋さん。場所は国道380号線沿い、小田高校前に位置。

もともとは、食料品兼雑貨小売のお店だった。道路拡張のための移転や、ファストフード的なお店がない地域の現状を考え、勝つちゃんが思い切って「お好みハウスおおした」をオープンしたのは、今から33年前のことである。

それから8年後、今の幹線道路沿いに新築・移転オープンし、増加したお客さんの対応もあって、テーブルを増やすなどのリニューアルを施した。

この頃、ご主人の育男さん（以下育ちゃん）は、勝つちゃんの女手一つの奮闘に大いに喚起され、長年勤めていた郵便局を早期退職。安定した収入に別れを告げ、夫婦二人でお好み焼き一本の道を志

した。お客様に飽きられぬよう、様々な新メニューも開発。勝つちゃん、育ちゃんの飽くなき挑戦が始まった。

ここで、女将・勝つちゃんの人となりを紹介したい。韓流ドラマの大ファンであり、数独ゲーム(脳トレ)に挑戦しつつ、スバル図書館のランキングトップテン入りは間違いないと思われる、大変な読書家でもある。

また、地域の人達との卓球練習も欠かさず、頭と体の両方を存分に鍛錬。オフの時間を、健康的に充分にリフレッシュすることで、明日の仕事へのエネルギーを培っている。だから、いつもさわやかに「はいい！」が返ってくるのだろう。

そして、ご主人の育ちゃんも多忙を極めている。本業はもちろん、自治会役員や、お盆の「火まつり」の世話に加え、パソコン教室の先生、健康づくり卓球教室など、それはそれは多種多様に、「自分が地域でできること」を常に考え、誠心誠意尽力されている。そんな頑張り屋さんの二人が作るお好み焼きが、美味しくないわけがない。「お好みハウスおおした」の店内は明るい。四季折々の花が飾られ、ご主人手作りのメニュー表に

は、お好み焼きでは人気の「ミックス」ほか、十数種類の豊富なメニューが並ぶ。

変わり種では、「焼きうどん」「ねぎ焼き」などのファンも多い。昔ながらの「鍋焼きうどん」は、3年前の国体で訪れた、多数の町外のお客様からも大好評だった。また今の季節は、家庭ではちよつと作れない？ほど良い味が染み染みのおでん(要予約)も外せない。

本当にメニューは枚挙に暇がないほど豊富で、小グループの貸し切り宴会も、これまた豊富な種類のアルコールとともに楽しめる。最近、「じゃばら」のチューハイが特に人気だそう。低予算で楽しめるので、幹事の方にも嬉しい。

一方、厳しい現実もある。開業のきっかけの一つでもあった、店舗すぐ裏の「小田高校」が、本年4月より、生徒数の減少等により、内子高校の分校になることが決定。小田地域は、少子高齢化による人口減少が特に顕著であり、当店だけでなく、地域に根差してきた店舗としては、商売の継続自体も岐路に立たされている。お客様へのニーズに、店舗としてのようには対応することができないか。地域外のお客様を取り込むには、どうすれば良いか？今まさに、商売人

としての真価が問われている。よく言われている言葉がある。「ピンチをチャンスに！」

取材している私も商売人である。お互い、知恵を出し合って、今のこの時代を乗り切っていこう。常連客のお一人が口にした。「勝つちゃん、育ちゃん。ずっとお店続けてな。私らの集える場所がなくなると、困るんよ」

「お好みハウスおおした」は、住民達が集い、繋がる大切な地域のコアになっている。どこかのテレビコマーシャルではないけれど、「ねえ。今夜は「おおした」のお好み焼きにしない？」尚、お好み焼きは「道の駅せせらぎ」でも絶賛販売中。



お好みハウスおおした

内子町寺村593-10

TEL 0892-52-2322

定休日・月曜日(午後1時〜)

営業時間午前10時〜午後8時

株武田林業

(森林サービス業)
代表取締役 武田 惇奨
(しゅんすけ)
〒791-3502
内子町寺村 2478-6



山と人々が暮らす場の中間、桟(ふもと)に立ち、それらを繋ぐことをテーマに様々な企業活動を行なっています。事業は、山林を舞台とした観光 PR 事業、山の恵みをたくさんの方々に提供するイベント事業、デジタルファブリケーションを活用した木工・看板製造事業など。また、木育×プログラミング教育をコンセプトに事業化した教育事業「MOCKUP プログラミング教室」は、過去に総務省実証事業として始まり、今年度はグッドデザイン賞 2019 を受賞、民営塾として内子の町並みにて開塾しています。林業盛んな小田を拠点に、山林や木にまつわるグッドニュースを提供できるよう、皆さまと協業のもと町の活性化に貢献します。



有イヨエッグ

(養鶏業)
代表取締役 佐々木寛治
〒791-3310
内子町城廻 2795
TEL 0893-44-3931
営業時間 8:00~17:00
定休日/なし



循環環境保全型農業を目指し、飼料米に取り組んだ給餌体系をとっています。その中で特に力を入れているのが黄身の白い“米っ娘たまご”です。その卵を使って作った真っ白い“白壁ロール”は、地域の活性化に少しでも貢献できればという思いでネーミングしました。真っ白いロールケーキなので女性に人気があり、内子町のおみやげとして販売が伸びればと期待しています。



新会員のご紹介
新しく入会された新会員をご紹介します。

花と蝶

(居酒屋・スナック)
代表 平田 百佳
〒791-3301
内子町内子 2748
TEL 0893-57-9299
080-1077-2684
営業時間/17:00-24:00
定休日/火・木曜日のどちらか
※予約は優先いたします
席数/30席、駐車場 10 台



居酒屋として、スナックとして。居酒屋メニューを豊富にご用意。スナックではカラオケを完備、一次会にも二次会にもご利用ください。カウンター横のテーブルは広く、ゆっくりとくつろげます。ぜひ、女性の方に女子会などで楽しんでほしいです。

レストラン ころ

(飲食・喫茶)
代表 妹尾(せのお) 浩二
〒791-3301 内子町内子 1949
TEL 090-5140-0031
営業時間/11:00~14:30
15:00~21:00
定休日/木曜日
席数/22 席、駐車場有



手造りを心掛け、温かいお料理とホームメイドケーキでおもてなしする事が第一です。洋食の経験を活かして、ラムやフォアグラ、子牛などを提供します。



S.S.C planning

(家屋、庭園解体、外工)
代表 森岡 誠二
〒791-3301
内子町内子 4033
TEL/FAX 0893-57-6165
携帯 080-2970-9991



2019.7創業。建設業界に勤務後、独立。家屋や庭の解体を致します。解体後、駐車場や庭へのアプローチ作り、また家庭の不要ゴミの処分や、塀の撤去の後フェンスや生垣へのやり替えなど、お客様のご要望に応じて、やれることを致します。まずはご相談下さい。ちなみに SSC の意味は『仕事しいのせいちゃん』どうぞ宜しくお願いします。

辰本建築

(建設業)
代表 辰本 優
〒791-3611 内子町大瀬中央 4267
TEL 090-8695-4207
営業時間/9:00~17:00
定休日/日曜日(基本)



御施主様のご要望に、応えられるように、誠心誠意頑張ります。

年男・年女

年男・年女の皆様に、令和2年の抱負をお聞きしました。

昭和23年生



藤井 直行
中町整体
藤井療院
整体
(内子)

今日よりも明日！前向きに！



西岡 正
株式会社小田電器
製作所
椎茸製造
(小田)

おめでとうございます。6回目の年男になりました。今年は丑のようにどっしり構え、寅のように睨みを利かす子(ね)になりたいと思います。

昭和35年生



北地 浩幸
北地酒店
酒類販売
(五十崎)

不惑・知命をとうに過ぎ、耳順(じじゅん)の年になりました(ま

じ!?)
蔵の財より身の財、身の財より心の財を積む1年に!!



大久保 明憲
大久保建設
建設
(小田)

今年2月で60代という、未知の世界に突入致します。今一度初心に戻って、小田のクマちゃんとして、小田はもとより、地域活性化の為に汗を流したいと思えます。(汗を出せ、汗の中から知恵を出せ)

昭和47年生



西野 隆志
ラーメン・餃子えん
飲食
(五十崎)

飲食業に転職して7年目となりました。私生活、お店の商品開発、やりたい事は尽きません。「考えを止めず」今年も頑張ります。



中田 正樹
かば忠
飲食
(内子)

一日一日を大切に。来年こそじゃなく、今年こそ現実に！

ていう気持ちで、悔いのないようがんばっていききたい。

昭和59年生



山本 将史
株式会社山本工所
建具製造
(内子)

社長になって6年目。若い人が地元に残って活躍できる会社作りをしたい。昨年は忙しくて子供たちとキャンプに行く約束が果たせなかつたので、今年こそキャンプに行き、子供たちと思いつき遊びたい。



篠原 孝
有限会社篠原建設
建設
(内子)

「地道にコツコツと」を motto に今年も頑張ります。年男の今年こそは、家族との時間と趣味を作って、プライベートも充実した1年にしたいです。

令和2年



今回、期せずして、同業種の方々の取材を引き受けてしまった。取材に際し心がけているのが商売繁盛の一助となること。
商店、店主の方々の個性を、想いをいかに伝えられるかに心をくたく。紙面にエネルギーがこもれば、読んで頂けると思っている。今回も残念なのは紹介できる軒数が限られている事、次回こそ頑張ろう。
話は変わって、最近の考え事が言葉使い。何かを批判することよりも何かを創造することに賢明でありたい。
なによりも言葉には言霊(ことだま)が存在すると思っている。紙面にもなるべくマイナスな言葉を使わないようにと考えているし、商売にもクリエイティブでありたいと思っているが。
今回も、取材に応じて下さった、商店主の皆さまに、エネルギーを頂いたように思う。感謝。



和菓子屋の僕の創造(試作ともいう)

編集後記

(月)